

■プロローグ 作品説明と注意事項

クスッ、こんな「ど変態」な音声作品に興味を持つなんて…

随分と恥ずかしい性癖を持っている様ねえお前は？

この音声作品は、どマゾの変態女装ネコとして、お姉様に飼われて

女の子みたいにみっともなくメスイキさせられる、すっごく恥ずかしい作品なのよ？ 分かってるの？

普通の男の子だったら絶対耐えられない様な、みじめで屈辱的な調教をされてしまうわよ？

それでもいいの？ (※4秒) そう、覚悟は出来てるのね？

クスッ、いいわ、それじゃあ今日から私がお前の飼い主よ。

ああ、もし持っているなら、女の子の服や女の子の下着をつけておきなさい。

ネコ耳なんかもあれば最高だけど…

全部無くても大丈夫。

本当のお前が、どんな場所でどんな格好をしていたって関係無いもの。

いっだって、飼い主である私が、私好みの可愛い女の子の服を着させているわぁ♪

だって、飼い猫であるお前に、服を選ぶ権利なんて無いものねえ？

そうそう、名前もつけてあげないとね♪

よおし、それじゃあ、今日からお前の名前は…「ミク」

変態マゾネコの「ミク」よ、いいわね？

え、私には別の名前があるですって？

あら、馬鹿なの、お前は？

飼い猫の名前を決める権利も、飼い主の私が持っているに決まっているじゃないの。

拒絶することなんて、お前には出来ないのよ？

いいわね、今日からお前は、私に飼われている変態メス猫の「ミク」よ。

それから、私のことは「お姉様」って呼びなさい。

私の命令には絶対服従。

ネコだからってここでは甘やかさないわよ。

逆らうことは許されない、いいわね？

お返事は「はい、お姉様」よ。ほら、言いなさい♪(※4秒)

そう、素直なネコちゃんは、お姉様大好きよお♪

(※ちょっと低くおどす→)くすっ、言うことが利けない馬鹿ネコは、素っ裸にして外に捨ててしまうからね？

ああそれから、紹介しておくわ、この娘。

私が今飼ってる、お前と同じ変態女装ネコの「ユウナ」よ。さあほら、こっちに来てご挨拶しなさい♪

『は、はい…。お姉様に飼って頂いている、へ、変態女装ネコの、ユウナです。

男の娘なのに、女の子の服を着て…オ、オ、オチンチンを…お勃起させてしまう、変態のマゾネコです。

宜しく…お願いします』

うっふふ、良く調教されていて、とっても可愛いでしょう？

お前もユウナに負けない様に、心の底から女の子になりきって、お姉様の調教を受けるのよお？

ほらミク、お前からもユウナにご挨拶しなさい。

「変態女装ネコのミクです、今日から私も、可愛いメスネコになりますので、宜しくお願いします」って、はい♪(※9秒)

『よ、よろしくね…ミクちゃん…』

うふふ、楽しみだわぁ

2匹ともいっぱい可愛い声で鳴いて、変態のメスネコになるのよお、いいわね？

『はい、お姉様』

それから、女の子の服の用意は出来ればでいいけど

コレだけは絶対に用意しておきなさい。

大丈夫、きっとお前の家にもあるものだから。

それはねえ、お皿よ、お・さ・ら♪ あるでしょう？

何に使うかですって？

くすっ、もちろん猫ちゃんにミルクをあげる為に決まってるじゃないの♪ うっふふ…。

ああ、ちなみに、お皿は作品の最後の方で使うんだけど…

プレイの内容によっては、先にお皿にミルクをそそいでもかまわないわ♪

こぼさない様にして、ちゃ〜んとお皿に貯めておきなさいよお、分かったあ？（※3秒）

最後に注意事項。

本作品はジョーク作品よ。

作品内で行われている行為等を実際に実行して

お前自身や周りの人や物に実害が出たとしても

制作者側はいっさい関知しないわ。

全て自己責任で楽しんで頂戴ね。

それが守れるマゾ紳士さんだけが、この作品を楽しむことが出来るわ。

それじゃあ本編で待ってるから、女の子になりきってメスイキさせられたい

恥ずかしい子は、お姉様のところにいらっしやい♪

■第一話 ユウナと一緒にチクニー

よおし、それじゃあ早速、調教を始めるわよお。

さあ、まずはいつもの様にご挨拶から。

ほらユウナ、お手本を見せてあげなさい♪

『は、はい…。今日も女の子になりきって、一生懸命恥ずかしい声で鳴きますので

厳しく可愛がって下さい、お姉様っ』

さあミク、ユウナのマネをすればいいから、同じ様に挨拶してごらんなさい♪(※10秒)

うふふ、なかなか上手よお♪

さあまずはどうするの？ ユウナ、教えてあげなさい♪

『はい…シャ、シャツをめくって…、お姉様に、その…ユウナの…オ…オッパイを、見て頂きます…』

『んっ、はあ…どうぞ、毎日触って、少し…エッチに膨らんだ、ユウナの女の子オッパイを見て下さい、お姉様…』

うっふふ、ホントにイヤラシイオッパイねえ、ユウナあ♪

男の娘なのに、もうAカップくらいはあるんじゃないのお？

(※いじわる→)ピンク色の乳首もピンって勃っちゃって、いったい何を期待しているのかしら、この変態ネコはあ♪

『あ、ああん…はあ、はあ、恥ずかしいネコで、ごめんなさいい…』

さあミク、次はお前の番よ？

同じ様にシャツをめくって、オッパイをお姉様に見せなさい♪(※4秒)

あらあら、お前のオッパイも、本当にいやらしいオッパイねえ？

ん～？ お前も、いつも自分でオッパイや乳首をいじって、恥ずかしいことしてるんじゃないの？

ふふ、まったく困ったわねえ、私の飼い猫ちゃんたちは、エッチで変態な女の子ばかり♪

よし、それじゃあ二人とも、自分で乳首を触って、オッパイオナニーを始めなさい。

いきなり強くしたらダメよお？

最初はゆっくり、優しく、指先で乳輪の周りをクルクルと刺激する様に。

『あ、くうん。ん、んん、ああんっ』

そう、それから、少しずつ指を乳首に近づけて、ほおら、自分で自分の乳首を焦らしなさい。

『ひやあん、ああ、あああ…お姉様あ、あ、ああん、んああ』

まだ、ダメよっ、うふふ、ほら、どうしたいのか言ってごらんなさい？

『んああ、あ、あ、ああん。さ、触りたいです…、乳首に、ん、ああん、自分の乳首に触りたいですう』

お前はどうかのミク、ほら、言いなさい♪(※6秒)

うっふふ、何てはしたないメスネコなの、お前たちは♪

いいわ、ほら、指先で乳首をクリクリして、恥ずかしい声で鳴いてごらん♪

『ああん！ あ、あ、やあ…、乳首い、ユウナの乳首、こんなに硬く、ピンピンになってますうっ』

『あ、あ、ああん、ダメえ、お姉様が見てるのに、お姉様が見てるのに、ユウナ、また自分で乳首触ってるう、んはあん』

そう、見てるわよお、スケベえなお前たちが、自分で自分の乳首をクリクリ触って、いやらしい顔をしているところ♪

『ああん、乳首い、乳首気持ちいいですう♪ はあ、はあ、ああ、ミクちゃんも、一緒に乳首触ってえ、エッチな声を聴かせてえ』

そうよミク、お前もユウナといっしょに、もっと女の子になりきってエッチな声を出しなさい、ほおら♪(※6秒)

うふふ、まったく、こんなエッチなメスネコを飼っているなんて、お姉様、飼い主として恥ずかしいわよお？

『やあん、ごめんなさいい、ユウナとミクちゃん、エッチなメスネコでごめんなさいいっ。あ、あ、ああん、乳首いい乳首いい』

『はあ、はあ、ああん！ チクニーい、ミクちゃんと一緒にチクニー、気持ちいいよお♪ あ、あ、ああん、乳首クリクリ止まらないのお！』

あら？ 何よコレっ、お前たち2匹とも、オチンチンが大きくなってきてるじゃないの！？

『や、ああん、だめ、だめえ見ないでえ、お姉様あつ』

クスクスッ、どういうことなの、これは？ 何でオッパイ触ってるだけで、オチンチンが勃っちゃうのかしらあ？

『はあ、はあ、ああ、ごめんなさいい。ユウナ、自分の女の子オッパイ触ると、オチンチンが…オチンチンが大きくなっちゃうんですうっ』

お前たちは今、女の子なのよ？ 女の子はオチンチン大きくなんかしたらダメでしょう？

『ああん、は、はい。女の子は、オチンチン大きくしたらダメですう！ ああ、あ、あ、ごめんなさい、お勃起してごめんなさい』

(※悪戯っぽく→)ほおら、オチンチン小さくしなさい♪ もちろん、乳首クリクリはやめちゃダメよお？

『ああん！ んああ、は、はい。オチンチン、小さくしますうつ。はあ、はあ、あ、あ、ああん』

ほら、お前もよミク。女の子なのにオチンチンお勃起させるなんて、恥を知りなさい？

さあ、いやらしく自分でオッパイを揉んで、乳首を虐めながら、オチンチンは小さくするの♪

『あ、あ、ああん。オッパイいいつ、オッパイもみもみ気持ちいいのお！ オッパイ、オッパイ、オッパイオナニー大好きい！』

ほら、もっといやらしく乳首をクリクリいじりなさいミク！ 女の子になりきって恥ずかしい声で喘ぐのよ、ほら！（※7秒）

『やあんダメえ、乳首ギュッと摘まむと、オチンチンがまた、ビンビンに硬くなっちゃうのお！ あ、あ、んはああん！』

何してるの2匹とも、ちっともオチンチン小さくならないじゃないのっ。

オッパイ触ってオチンチン硬くする様な変態ネコじゃ、飼い主のお姉様が恥をかいてしまうのよ！？

『ああ、ごめんなさい、ごめんなさい！ はあ、はあ！ だめえ、乳首、乳首クリクリでイっちゃう！』

『ああん、オッパイ気持ちいい！ 乳首気持ちいい！ ああん、チクニーで、ユウナまた、チクニーで女の子になってイっちゃいますう！』

『(※絶頂→)ああんんあああーー！！』

うっふふ、まったく、オチンチン小さくするどころか、男の娘のクセに、オッパイ触ってイっちゃうなんて。

(※さげすむ→)本当にど変態ね、お前たちは、いやらしい！

あらあら、可愛い女の子のパンティーに、お前たちのいやらしいカウパー液でシミが出来ちゃってるじゃないの。

ほら、二人とも順番に謝りなさい♪

まずユウナは、お姉様に叱られたのに、オチンチン小さく出来なかったことよ。

『ああ、はあはあ。は、はいい…お、お姉様に叱られたのに、オッパイ触りながら、オチンチンをお勃起させてごめんなさいい…』

よおし、次はミク、お前は許可も貰わず、勝手にオッパイオナニーでメスイキして

女の子のおパンティーを、恥ずかしいオチンポカウパーで濡らしてしまったことを謝りなさい♪(※10秒)

くすっ、まあふたりともとっても可愛かったから、今回のところは許してあげるわ♪

その代わりに、二人ともしっかり反省しておくのよ、分かった？

『はい、お姉様』

■第二話 ユウナとシックスナインフェラ

さあ、次は男の娘同士で、オチンチンをお口でペロペロし合いなさい、お前たち♪

『お、男の娘、同士で…ミクちゃんと、オチンチンを…ペロペロ？ ああ、そんな…恥ずかしいですっ』

あら、嫌なの？ ミクのこと、好きじゃないのね？

『ち、違います！ ああ、でも…そんな、ミクちゃん、男の娘のユウナのオチンチンなんて、ペロペロしたくないでしょう？』

うふふ、どうなのミク？ ユウナのオチンチン、ペロペロしたい？ したくない？ 答えなさい♪(※5秒)

『ほ、本当？ ユウナのオチンチン、ペロペロしてくれるの？ ああ、はあはあ、ユウナも…』

『ユウナも、ミクちゃんのオチンチン、ペロペロしたいっ。ああ、一緒に、オチンチン舐め舐めしよう、ミクちゃん！』

くすっ、男の娘同士で、オチンチンフェラチオし合いたいなんて、本当に変態なネコちゃんたちねえ？

いいわあ、ほら、お互いのオチンポに吸い付いて、ペロペロ舐め合いなさい、お前たち♪

『んん、ああん…ミクちゃんのオチンチン、はあはあ♪ すっごく大きくなってる』

『んああ、クチュッ、チュプッ、ペロペロ、レロレロ。ジュブプッ、んはあん、オチンチン♥ ミクちゃんの、お勃起オチンチン♥』

『(※だんだん卑猥な水音を→)んっ、ジュプッ、ジュルルッジュポッ。チュパッチュパッ、んああん』

『はぁん、すっごく美味しいよ？ ミクちゃんのオチンチン♥』

『あぁん、どうしよう、ユウナ…男の娘のオチンチン舐めてるのに、変な気持ちになってるう』

うふふ、ホント、男の娘同士でオチンポ舐め合って興奮するなんて、二人ともど変態ねえ？

ほら、ミクもイヤラシイ音をたてて、ユウナのお勃起チンポにフェラチオサービスしてあげなさい♪

『んはぁん、ミクちゃん、舐めてえ、ユウナのオチンチン舐めてえ、あぁん♥』

『あ！ あ！ やぁん、すごい、ミクちゃんの舌が、ユウナのオチンポ舐め回してるう♥ あぁん、あん、あん、トロけちゃうよお♥』

『あ、あ！？ あん、ダメだよお、そんなに強く吸われたら、ユウナ、力が抜けちゃうう♥ やん、やん、あぁん♥』

あらあら、腰をガクガクさせちゃって、そんなにミクのフェラチオが気持ちいいのお？

そう、男の娘なのに、フェラチオが上手だなんて、お前はどうしようもない変態ねえ、ミク？

ほら、こう言って、卑しく悶えながらフェラチオしてごらんなさい♪

「私は男の娘なのに、オチンポを舐め回すのが得意な、変態のメスネコです」はい♪(※8秒)

『やあん、あ、あ、ああん♥ 上手う、すごくフェラチオ上手だよお、ミクちゃん♥』

『ああん、オチンチン気持ちいい、オチンチン気持ちいいよお♥ ああ、ああん♥』

ほらユウナ、エッチな声ばかり出してないで、今ミクに何をされているのか詳しく説明しなさい。

『はあ、はあ！ はい、い、今ミクちゃんは…ユウナのオチンポのサオの裏を、根元から先っぽまで、何度も何度も舐めてますう♥』

『あ、あ、ああん♥ 次は、あ！？ いやあん、タ、タマを…ユウナの金玉を口に含んで、ああん！ 舌でチュパチュパしてますう♥』

『やあん、タマがあ、ユウナの金玉が、ミクちゃんのお口で吸われてるのお♥』

『ああん、だめだよおミクちゃん！ はあはあ！ 女の子が、そんなはしたないことしちゃ、んはあ！ だめなのお♥』

『ひやあん、エッチすぎるよお、ミクちゃん♥ あ、あ、ああ！？ 今度は、オチンポの先っぽにい！？』

『あくうん、亀頭の裏だめえ、ユウナそこ、弱いのお♥ あ、あ、ああん、ミクちゃあん、おフェラチオうますぎるよお、んああ♥』

うっふふ、お前たち今、男の娘同士でシックスナインしてるのよお？

こんな姿、他人にでも見られたら、一生(※さげすみ→)蔑みの目で見られちゃうわねえ？

『あひい、ああん、クチュツ、チュパツ、ジュルルツ♥』

『はあ、はあ！ もっともっと、オチンポ舐め合おう、ミクちゃあん♥ 男の娘同士で、シックスナインしよう♥』

『ああむ、グチュツ、ジュルツ、チュパッグチュチュツ。あああ、気持ちいいよお♥』

『ああ、お姉様見てえ♥ ほら、ユウナのオチンチンも、ミクちゃんのオチンチンも、こんなにカチカチなんです♥』

見てるわよお、変態メスネコたちの、どスケベなチンポ舐めシックスナイン♪

2匹ともママのオッパイに吸い付く仔猫の様ねえ？

『オ、オッパイに、吸い付く！？ あ、あ、ああん♥ オ、オッパイい…んん、チューーッ、グチュグチュツ、ジュルルツ、チュパツ』

あら？ 何を想像したのかしら、ユウナ？ 言ってごらん。

『あ、そ、そんな…やあん、い、言えません、許してえ、お姉様あ…』

飼い主の私の言うことが聞けないの？ ほら、言いなさいユウナっ。

『ああ、それは…。うう、オ、オッパイなら…。ミクちゃんのおチンチンがオッパイなら、オッパイの…。ミルクが…』

くすっ、なあに？ ミクのおチンチンがオッパイなら、ミルクが何なの？ ほら、言いなさい！

『ああん、だから、ユウナ…ミクちゃんの…おチンチンオッパイの、ミルク…飲みたいなって。やあん、ごめんなさい、ごめんなさいい…』

ふっ、ははっ、本当に変態ねえ、お前は！

そう、ユウナはミクのおチンチンオッパイから出てくる、ミルクが飲みたいのね？

うふふ、どうしようかしらねえ？

そうだわ、ミク？ お前も一緒に、ユウナのおチンチンオッパイのミルクを飲むっていうなら、許可してあげるわよお？

ほおら、ユウナ、お前が言い出したことよ、ミクにお願いしてごらん？

『ああ、そんな…。うう…ミクちゃん、ユウナの…おチンチンオッパイのミルクを、その…』

『ユ、ユウナのお精子…。飲んでくれる？ ああん、い、嫌だよ、そんなこと、ごめんね、ごめんねミクちゃん…。ああ…』

ほおらミク、ユウナの質問に答えてあげなさい♪(※7秒)

あははは、そう、お前もユウナの精子が飲みたいのね!?

『ほ、本当!？ ミクちゃんも、ユウナのオチンチンオッパイのミルク…、お、お精子飲んでくれるの!？ ああ、嬉しいい…』

あらあら、男の娘同士でオチンポを舐め合った上に、お互いの精子を飲みたいだなんて!

私の飼い猫は、ホンット、どうしようも無い最っ低の変態ネコだわぁ♪

だけど、うふふ…そんなお前たちが、お姉様大好きよお♪

ほら、女の子みたいにイヤラシク喘いで、お互いのお精子を交換しなさい!

『(※↓だんだん盛り上がり)んん、ジュブググチュグチュッ、ジュルッ、ジュルルルーーっ! んはあ、ああ、頂戴ミクちゃん!』

『ユウナのお口に、ミクちゃんのオチンチンオッパイミルク♥ ああん、ジュルググチュグチュッジュポオッ、ジュルルルーー!』

『はあ、はあ! ユウナも出すよお、ミクちゃんのお口にお精子い♥ あ!？ やあん、だめだめ、そんなに金玉揉まないでえ、ああん!』

『ああ、すっごく気持ちいい！ オチンチン舐めながら、オチンチン舐められるの、すっごく気持ちいいのお！ やあん！』

『吸ってええ、ユウナのオチンチン吸ってええ！ ユウナも、ミクちゃんのオチンチン吸うからあ♥ ああん、クチュツ、チュウウーっ』

『やあん、出るう、出ちゃうう！ オチンチンオツパイのミルクでるう！ ミクちゃんのお口で、精子出ちゃううー！！』

『ミクちゃんも一緒にイってえ！（※絶頂→）にやあん、イクイクう、男の娘のお口で、オチンポミルク出るうう、んああああ！！！！』

『ジュルルツジュパアッ！ んはあ！ はあはあ！ ああん、出ちゃったあ、男の娘同士で、お口にお射精しちゃったよお、ああん…はあ、はあ』

うっふふ、私の可愛いスケベ猫たち♪

さあ、いっぱいお口に出して貰えたんだから、ちゃんとお礼を言ってからゴクンしなさい♪

『はあ、はあ！ ああ、ミクちゃん、ユウナのお口に、温かいお精子いっぱい出してくれてありがとう…♥』

『ああ、一緒に…お精子飲もうね、ミクちゃん♥ …いくよ？ ん、クチュツレロ、ジュルルツジュルルツ…ゴクンゴクン』

『ああん、ミクちゃんの温かいお精子ミルク、甘酸っぱくてとっても美味しいよ。んああ、はあ、はあ…』

ほら、美味しいミルクを貰ったんだから、ごちそう様でしょう？

『ああん、はあ、はあ…、お、美味しいオチンポミルク…ごちそう様、ミクちゃん♥』

■第三話 ユウナと一緒にアナル開発

さあ、次はお待ちかねのアナル開発の時間よお♥

このオチンポのおモチャを使って、お前たちがアナルオマンコで女の子になれる様に、お尻の穴を開発してあげる♪

と言っても、うふふ、お前たちみたいな変態マゾのメス猫には、ご褒美にしかないかもねえ？

ちなみにここからは、完全に女の子になりきって調教を受けるのよ？

つまりい、オチンチンに触ることはいっさい許さないってこと。わかった？(※4秒)

よおし、それじゃあユウナ、いつもの様にお姉様に、お尻のオマンコをオネダリしてごらんなさい♪

『(※困惑・恥ずかしい→)あぁ…でも、でも…』

ああら、なあに？ お前もしかして、ミクがいるから恥ずかしがってるの？

(※ニヤニヤ悶える)うふふ、いい表情♪ お前のそんな顔、お姉様大好きよお♪

ほら嫌がったってダメよ、いつもの様に、いいえ、いつも以上にイヤラシイ言葉を使ってオネダリなさい！

『ああ、そんなあ…。あうう…。きよ、今日もユウナの…お尻の穴を…』

こら、何可愛い子ぶってるの！？ いつもは、その助平なお尻をお姉様に突き出して、いやらしくオネダリしているじゃないのっ。

『やぁあん！ …ああ、お、男の子の…オチンチンが好きな、ユウナのお尻のおマンコをっ、いっぱい可愛がって下さい、お姉様ぁ！』

くすくすっ、よおし。次はお前よ、ミク♪

そうねえ、お前はそのエッチなお尻をお姉様に突き出して、フリフリ振りながらオネダリしてみなさい♪

え？ 何て言えばいいのか分からないの？

もう、しょうがないわね、今回だけは私が考えてあげるから、ちゃんと復唱しなさいよ♪

「女の子になりきってメスイキするのが大好きな、変態ネコのスケベなお尻オマンコを…」 はい♪(※3秒)

(※途中でさえぎる様に→)ほら！ もっとイヤラシクお尻を振りなさい！ 大きな声でオネダリするのよ！ やり直し！

「女の子になりきってメスイキするのが大好きな、変態ネコのスケベなお尻オマンコを」 はい(※8秒)

「オチンチンのオモチャでいっぱい可愛がって下さい、お姉様♪」 はい♪(※7秒)

あははは、2匹とも、ホント最っ低の変態マゾネコねえ♪

男の娘のクセに、そんなにお尻マンコにオチンポが欲しいのお？ ん～？

ほら、もっと尻を突き出して、お尻マンコを自分で開いて見せなさい！

『は、はい、お姉様っ』

うっふふ、2匹とも、男のチンポが好きそうな、エロエロマンコ穴ねえ？

よし、たっぷりローションを塗って…

同時に挿れてあげるから、女の子になりきって可愛い声で鳴きなさいよ、ほおら！

『(※挿入→)あっくら、んにゃああん！ ああ、入ってきたあ、オチンチンが、オチンチンがお尻のオマンコに入ってきたあ！』

『あ、あ、ああん！ お腹の中に、オチンチン入ってますう！ ん、くうん、ああ、はあ、はあ！ ああ、お姉様ああ♥』

あらなあに、男の娘なのに、お尻の穴にオチンチン挿れられて、どうしてそんなエッチな声が出ちゃうのお、お前たちは？

『あひゃあん、お尻い、お尻だめえ、はあ、はあ！ 頭が真っ白になっちゃいますう！ あ、ああん、あんへえあああ♪』

あら？ ちょっと何よお前たち、触ってもいないのにオチンチン大きくなってるじゃないの！？

あはは、やっぱりお前たちは、最っ低の変態メス猫ね！

男の娘なのに、お尻の穴にチンポ挿れられて、自分のオチンチン興奮させるなんて

お姉様、こんな恥ずかしいエッチ猫、みっともなく外を連れて歩けないわよお？

『(※興奮・マゾ→)にゃあん、はあ、はあ！ ご、ごめんなさいい！ ユ、ユウナは…男の娘なのに

お尻のオマンコにオチンポ挿れられて、自分のオチンチンをお勃起させちゃう、最低で、変態の、エッチなメス猫ですう、んにゃあん♥』

くすっ、さっきまでミクの前だからって可愛い娘ぶってたクセに

もうお尻マンコの気持ち良さで、助平な女の子になっちゃってるじゃないの、ねえユウナ？

『やあん、ああ、あ、ああん！ ごめんねミクちゃん！ ユウナ、ユウナ、スケベな女の子でごめんねえ！』

『あん、あん、お姉様、だめえん！ オチンチン、オチンチン動かさないでえ、あ、ああん、あん、あん、んはあ！』

『くうん、もう、ミクちゃんの前で、これ以上ユウナをエッチにしないでえ、あん、あん、んあああん！』

あら、ミクはエッチになったユウナが嫌いなの？ それならやめてあげるけど。

ほら、どうなのミク、答えなさい？ エッチなユウナは好きなの、嫌いなの？ (※4秒)

うっふふ、ほら、聞いたユウナ？ ミクはエッチなお前のことが大好きだって♪

『はあ、はあ！ ほ、本当！？ 男の娘なのに、お尻の穴でエッチな声を出す、ユウナのこと好きって思ってくれてるの！？』

『ああん、あ、ありがとう！ はあ、はあ！ んはあ、ユウナも、ユウナもエッチなミクちゃんが大好きだよお！』

『だから、ミクちゃんもエッチになってえ！ ん、あ、ああん、お姉様にお尻のオマンコを可愛がってもらって、女の子になってえ！』

『もっと、もっとだよミクちゃん！ もっとミクちゃんのエッチな声聴かせてええ！』

『私たち今、お尻の穴のオマンコで、セックスしてるんだよお！ あ、あ、ああん！』

『ん、はあん、オマンコ好き、お尻のオマンコ気持ちいいよお！ はあん、ミクちゃんと一緒にお尻のオマンコでセックス♡』

ほらほら、お前たち男の娘のお尻マンコにしかない、とっても敏感な部分をグリグリしてあげるわよお♪

ココ！ ほおら、ココでしょう、前立腺♪ オチンチンの裏、お前たちが女の子になっちゃう「どスケベポイント」よ♪

さあ2匹とも、お姉様がこのオチンポのオモチャを使って前立腺を虐めてあげるから もっとイヤラシイ声を出しなさい！

男の娘オマンコの敏感な部分を責められて、女の子になるのよ！

『(※衝撃→)きゃあ！ んくうん、くうん♪ らめえソコらめなのお♥ トロけちゃうう、ユウナのお尻マンコトロけちゃうう、あ、あ、ああん！』

『にやあん、にやあん！ はあ、は、は、はあ！ ああ、気持ちいい！ セックスう、前立腺セックス気持ちいいよお！』

『ああん、オチンチン欲しい！ もっとユウナのお尻オマンコに、オチンチン挿れて下さい、お姉様あ！ あ、あ、んはああん！』

うっふふ、この変態マゾのメス猫たちめ！

触りもしないで、オチンチンびんびんに勃起させて♪

そんなにお尻の穴が気持ちいいのお？

ほらミク、答えなさい♪

オチンチンしこしこするのと、お尻オマンコずこずこされるの、どっちがいいの？(※6秒)

ふふ、ユウナは？ オチンチンとお尻の穴、どっちかしか触れないなら、どっちを触ってオナニーしたいの？ ほら、答えなさい！

『あ、あ、んはあん！ そ、それはあ！ きゃあん、お、お尻い、お尻の穴を触りたいですう！ あああん！』

くすくす、お前たちは男の子なんでしょう？

オナニーするなら、オチンチンをシコシコして気持ち良くならなきゃいけないんじゃないのかしらあ？

『にゃあん、あ、あ、きやうん！ ごめんなさいい！』

『ユウナたちは、男の娘なのにオチンチンしこしこじゃ満足出来ない変態ネコですう あくうん！』

『お、お姉様に、お尻の穴オマンコをオチンポコでズコズコして貰えると、女の子になって恥ずかしい声を出しますう♥』

お前もなのミク？ ほら、お尻オマンコで女の子して下さいって、お姉様にお願いしてごらんなさい！（※6秒）

『ミクちゃあん、一緒に女の子になろう！ お尻セックスで女の子になって、エッチな声をお姉様に聴いて貰おう！』

うっふふ、お前たちスケベ猫のお尻オマンコが、男の子のオチンポを美味しそうに啜えているところ、よく見えるわよお♪

『にゃはあん、ユウナのお尻オマンコと、男の子のオチンポが繋がってるトコロ、お姉様に見られてるう！』

『んああ、お尻気持ちいい、お尻気持ちいいのお！ ああ、んああ！ ユウナが女の子になってるトコロ、もっと見て下さいい！』

『あ、あ、あああ！ ユウナは、ユウナは変態メス猫お！ お尻の穴で、男の子とセックスして悦ぶ、変態のメス猫ですう！』

2匹とも、お尻の穴だけで、オチンチンの先もうビチャビチャじゃないの、イヤラシイわね！

ほらミク、「私は、お尻の穴オマンコを虐められると、お股の間をビチャビチャに濡らすスケベなメス猫です」って言ってみなさい！（※8秒）

『ああん、あ、あ、あはあん！ お勃起してるう、お尻オマンコ虐められて、ミクちゃんとユウナ、オチンチンお勃起してるよお！』

そうよ、ほら私の可愛い変態ネコたち！ 男の子にオチンポ挿れられて、可愛い声で鳴きなさい！！

『にゃあん、トロけちゃうう！ 男の子のオチンポが、ユウナのオマンコの気持ちいいところに当たってるう、んにゃああん！』

『あ、あ、ああん！ もっとお、もっとオチンポずこずこして下さい！ ユウナの男の娘オマンコ、使して下さい！』

『んくう、んはああん！ イっちゃうう、お姉様！ ユウナ、お尻マンコでイっちゃいますう！』

ほおら、イってもいいけど、いつもの様にメスイキしなさいよ？

触ってもいないのに、勝手にオチンチンミルクなんか出したら、許さないわよ？

『んにゃああん、は、はいい！ オチンチンミルク、我慢しますう！ あ、あ、あひいいいん！』

『オマンコで、ユウナ、男の娘オマンコで、メスイキしますう！ ああ、ああん、んあああ！ お尻マンコでメスイキしちゃうう！』

『はあ、はあ！ ミクちゃん、一緒に、ユウナと一緒に女の子になってイこう！ ああん、イっちゃううイっちゃうう！！』

ほら二人とも、「私は女の子です！」ってくり返しながら、メスイキしなさい！

『あ、あ、ああん！ ミクちゃんと一緒に、お尻マンコでイっちゃう！ 私は女の子、私は女の子ですうー！！』

『(※絶頂→)きゃああん、イク、イク！ 女の子でイっちゃう、お尻マンコでメスイキ、お尻マンコでメスイキしますう、んあああー！！』

(※5秒)うっふふ、お尻ガクガク震わせながら、2匹ともメスイキしちゃったのね？

イヤラシイ顔してっ、ほら、もっと良くエッチな顔を見せなさい♪

ん～？ お前たちは、こんなスケベエな顔をお姉様に見せながら、女の子でイっちゃたのお？

(※笑みを含んださげすみ→)クスクスッ、ホント最っ低の変態♪

■第四話 ユウナとチクニー&メスイキアナニー&ペニクリ射精

(※当たり前のように続ける→)ほら、何を休んでいるのお前たち？

そのままお尻でオチンポを啜えながら、もう一度乳首やオッパイを触りなさい♪

メスイキなんだから、何度だってイけるでしょう？

さあ、また自分でオッパイ揉むところ、お姉様に見せなさいユウナ♪

『はあ、はあ、そんな…少しだけ…ああん、休ませ下さい、お姉様あ…はあ、はあ』

駄目よっ。

お前たち飼い猫は、飼い主であるお姉様の心を満たす義務があるの♪

飼い主の言うことが聞けない様な猫は捨てられても仕方が無いのよ？

『やああ、ごめんなさいお姉様あ…。ユウナを捨てないで下さいい…クスンッ』

うふふ、可愛い娘、ユウナ♪ ほらいらっしゃい、お姉様もちよつと言い過ぎたわ。

よしよし大丈夫よお、お前がいい子でいるうちは、お姉様捨てたりしないから♪

『ああん、お姉様あ♪ (※言われたとおりに→)ユウナ、オッパイ触りますう♥』

『ああ、あん、あん、オッパイい、お姉様、ユウナのオッパイ見て下さいい、んはああん♥』

『ユウナは、お尻のオマンコにオチンポ挿れられながら、自分でオッパイ触ってイヤシクなっちゃう、ああ♥ 変態ネコですう、ああん♥』

そう、いい子ねえユウナ♪

お前はどうかなの、ミック？ お姉様の言うことが聞ける、いい子なのかしら？ 答えなさい♪(※5秒)

よおし、それじゃミック、お前もオッパイを揉んで、自分で乳首を虐めなさい♪

女の子のオッパイみたいに、プックリとイヤラシク勃起した自分の乳首を、指先でクリクリ弄ってごらん♪

指先で押しつぶしたり、上下左右にクリクリ擦って、アーンアーンって恥ずかしい声を出すの♪

…そう、うっふふ、イヤラシイ顔して、このスケベ猫め♪

ほら、ミックも言っごらん？

「私はお尻マンコにオチンポを挿れられると、乳首やオチンチンをお勃起させて悦ぶ、変態マゾのスケベ猫です」って♪(※10秒)

ああら？ 2匹とも自分でオッパイ触って、オチンチンがビンッビンじゃないの、いやらしいわね！

先に行っておくけど、メスイキなら何度でもしてもいいけど、オチンポミルクを出すのは、お姉様が許可してからよ、いいわね？

『はあ、はあ！ はい、お姉様あ！』

ほおらほら、乳首をクリクリする度に、オチンチンがビクンビクンって反応してるわよお？

女の子なのに、こんなにオチンチンびんびんにして、恥ずかしいメスネコねえ、お前たちは？

しかも、お尻の穴で男の子のオチンポを咥え込みながら♪

『あ、ああん、あん！ んにゃあ、女の子なのに、オチンポ挿れられて、オチンチンお勃起させちゃうユウナたちを見て下さいい♥』

『にゃあん、オッパイも、乳首も！ あ、あ、ああん！ お尻のオマンコも気持ちいいのお、あ、あ、んはあん♥』

うっふふ、2匹とも、オチンチンの先がスケベな涎でビチョビチョじゃないの♪

ほおら、お前たちは女の子オナニーでお股の間を濡らす、スケベ猫よお♪

もっとイヤラシクお尻をフリながら、「オチンチン以外」のエッチな部分でスケベになりなさい♪

『ああん、お姉様、オ、オチンチンにも…ユウナ、オチンチンにも触りたいですう、あ、あ、ああん♥』

駄目よっ、お前たちは女の子なのよ？

気持ち良くなっていいのは、オッパイとお尻のオマンコだけ♪

オチンチンなんて、お勃起することさえ、本当は許されないのよお？

ほら、もっと女の子になりきって！

いつも言ってるでしょう？ エッチな声を出すのを恥ずかしがってちゃ駄目よ？

お前たちは女の子、女の子よお♪

『にゃ、にゃあん、女の子お。私は女の子、私は女の子、お尻のオマンコで気持ち良くなっちゃう、エッチな女の子ですら♥』

さあほら、もっともっと女の子スイッチ、前立腺の快感で(※もだ→)悶えなさい♪

乳首を自分でクリクリ弄りながら、前立腺から広がるスケベな気持ち良さを、全身で感じるのよ♪

うっふふ、この変態、変態、変態♪ スケベ猫、スケベ猫、スケベ猫♪

本当は男の子のクセに、お尻オマンコにオチンチン挿れられて、女の子みたいに喘いで♪

お前たちはどっちも、ど変態でどマゾの、どうしようも無い「どスケベ猫」よ！

『にゃあん、ごめんなさい！ ユウナとミクちゃんは、自分で乳首を虐めて…あ、あ、ああん！』

『お尻のオマンコで気持ち良くなっちゃう、ど変態でどマゾの、どスケベ猫ですう！ くうん、あ、ああん、んはあ！』

ほら、自分で揉んでるからって手加減しないのっ。

もっと激しくオッパイを揉んで、ギュッて強く乳首を摘まみなさい！

お前たちはマゾ猫なんだから、そんな優しい虐め方じゃ、満足出来ないわよお？

『きゃあん、はあ、はあ！ オッパイい、オッパイ触るの好きい！』

『オッパイ揉んで、乳首を虐めながら、お尻のオマンコで、あ、あ、ああん！ 気持ち良くなっちゃうう！』

『にゃあん、またいつちゃう、お姉様あ、ユウナまたいつちやいますう、んはああん！！』

クスクスッ、本当に感じやすいスケベ猫ねえ、お前たちは♪

いつでもいいけど、次もちゃんとメスイキしなさいよ？

『んにゃああん、も、もう許してえ、お姉様あ！ ユウナ、オチンチンでイキたい、オチンチンでイキたいですう！』

駄目よ！ 何度も言ってるでしょう！ お前たちはメス猫よ！

女の子イキしか許さないわよ！ ほら、オチンチンは我慢、お預けよ！

『にゃあん、んきゅう。そ、そんなあ、オチンチンのミルク出したいよお、あ、ああ、んあああん！』

駄目って言ってるでしょう？ ほら、飼い主のお姉様の言うことが聞けないの？

『やあん、ごめんなさいい！ ああ、あ、あ、ああん！ お尻で、お尻のオマンコとオッパイだけで、女の子イキしますう！』

『あ、くうん、あん、あん！ はあ、気持ちいい！ お尻のオマンコお、お尻のオマンコでイっちゃうう、ああん！』

ほおら、オチンチン動かしてあげるから、ユウナもミクも、もう一度女の子になってイっちゃいなさい♪

『くう、んはあん！ は、はいい！ ああ、オマンコお、オマンコ気持ちいいよお！ あん、あん、あああん♥』

『また、ミクちゃんと一緒に、お、女の子でイっちゃう！ オチンポ挿れられて、お尻マンコで、メスイキしちゃうう！』

『あ、ああ、んああ！ 気持ちいい！ んはあ、腰が抜けちゃうよお！ イっちゃう、イっちゃう、女の子でイっちゃう！』

『んひいいい！ やあん気持ちいい、オマンコ気持ちいい！』

『(※絶頂→)あ、あ、イクイク、オマンコイク、んあああああー！！』

(※5秒)あーあ、またイヤラシイ顔して、お尻の穴でメスイキしちゃったのお、お前たち？

お姉様が観ている前で、よくそんな恥ずかしいことが何度も出来るわねえ、ええ、この変態。

変態、変態、お前たちは、男の子のクセに、女の子の格好をして悦ぶ、最っ低の変態スケベ猫よ♪

あらあら、どっちもオチンチンの先っぽ、ビッチャビチャじゃないの？

うふふ、そんなにオチンチンでもイきたいのお？

『んにゃあ、はあ、はあ！ は、はい…ユウナ、オチンチンでもイきたいんです、んああ…オチンチン、オチンチン触りたい♥』

お前はどうかのミク？

お前もオチンチンで射精したいのお？ オチンチン触りたいか？ (※6秒)

うっふふ、しょうが無いわねえ。

それじゃあ次は、オチンチンミルクも出させてあげるわ。

ただし、お姉様が触っていいって言うまでは、絶対にオチンチンには触らないこと。

約束出来る？

『はい、お姉様あ』

よし、それじゃあ、これで最後よ♪

ほおら、もう一度、まずはメスイキよ♪

オッパイ触って、乳首をクリクリ♪

『あ、ああん、オッパイい、ユウナのオッパイ、もう完全に女の子になってますう♥ ああん、あん、あん、んはあん♥』

『んああ、お姉様に観られながら、オッパイ触るの好きい♥ やあん、もう乳首がビンビンで痛いくらい勃起しちゃってますう♥』

ほおらミクも、「ミクの女の子オッパイ観て下さい」ってオネダリしながら、オッパイ触りなさい♪(※7秒)

そう、オッパイや乳首を弄っていると、もう何度もイッてるお尻オマンコがまた、ジンジンしてきちゃうわよお？

オチンチンの根元にキュッと力を入れて！ ほおら、前立腺が震えるちゃう震えちゃう♪

オマンコが気持ち良くて、頭がポーッとしちゃうわよお♪

『にゃあ、にゃあん、あん、あん♪ オッパイ触ると、お尻のオマンコが濡れちゃう♥』

『はあ、はあ！ ユウナ、女の子みたいにオマンコ濡れちゃう、オマンコ濡れちゃう♥』

『んはあん、気持ちいい！ オッパイも、お尻マンコも、気持ち良くて変になっちゃいますう！』

ほらお前たち、イヤラシクお尻を振って、お姉様にオチンポとお尻マンコが合体してるトコロ見せなさい！

『あん、観てえ、オチンポとユウナのお尻マンコが合体してるどころ、観て下さいい！』

『きゃあん、お尻があ、腰がプルプル震えて止まらないのお！』

『あ、あ、ああん！ もうらめえ、お姉様あ、オチンチンに！ オチンチンに触らせて下さいい！』

そんなに触りたいの？ お前は女の子なのに？

『んああん、そうですう！ ユウナ女の子なのに、自分のオチンチン触って、もっと気も良くなりたいですう！』

お前もなのミク？ お前も、ユウナと一緒に、お尻オマンコにズコズコされながら、自分のオチンチン触りたいの？ (※7秒)

うっふふ、ホントに恥ずかしいメス猫ねえ、お前たちは！

いいわ、それじゃあいきなりシコシコしちゃ駄目よ？

お前たちは女の子なんだから、オチンチンはクリトリスよ♪

ほおら、自分のスケベ液でビチャビチャになったペニクリの先っぽを、指先でクリクリクチュクチュ弄りなさい♪

『んはあん！ ペニクリい、ユウナのペニクリ、こんなに硬くてビチャビチャですう！』

『あ、ああん！ 身体が、ビクンビクンって身体が反応しちゃうう！ はあ、はあ、いやあん、気持ちいいのお♥』

そのまま、片方の手でペニクリ虐めながら、もう片方の手で乳首もクリクリ虐めなさい♪

うっふふ、お前たちは今、自分でオッパイとクリトリスを弄りながら

お姉様のオチンポで、お尻マンコをズコズコされているのよ？

ほら次は、手のひらでペニクリを撫でまわりなさい♪

ギューっと押さえつけたり、クチュクチュと音を立てて擦ったり♪

散々焦らされて敏感になったペニクリちゃんを、自分の手で慰めるのよ！

『あ、ああん、んああ！ ペニクリい、ユウナのペニクリちゃん、エッチなお汁でビチャビチャなお、んああ！』

『あ、くうん、くうん♥ らめえ、頭が変になるう、気持ち良すぎて、ユウナ変になっちゃうう、ああん、あん♥』

『乳首もお、クリトリスもお、お尻マンコもお、全部全部気持ち良すぎて、頭がトロトロなお、んはああん♥』

『にやああん、もっとお、もっとして下さいい、お姉様あ♥ 好き好きい、お姉様大好きい♥ あ、あ、ああん♥』

『んにやあん、濡れちゃうう、オッパイとお尻の刺激で、ユウナのペニクリちゃん、もっともっと濡れちゃうのお♥』

ほおら、ミクももっと可愛い声で鳴いてごらん♪(※7秒)

うっふふ、お前ももうすっかり女の子ねえ？

『あああん、お姉様あ、シゴかせてえ！ ユウナ、オチンチンシゴいて、オチンチンでイキたいですう、あ、あ、ああん！』

(※しょうがないわねという感じで→)あら、お前は女の子なのに、オチンチンシコシコしてイキたいの？

それは男の子のオナニーのやり方じゃなかったかしらあ？

『んにゃあん、ごめんなさい、ごめんなさいい！ ユウナ女の子なのに、男の子みたいにオチンチンしこしこしたいのお！』

『出したいい、ミルク出したいい！ お願いします、オチンチンのミルク出させて下さい、お姉様ああ！』

あらあら、ホントにイヤラシイ娘ねえ？

ふう、しょうが無いわねえ、今日は良く頑張ったから許してあげるわ♥

ほらミルクも、もう金玉パンパンに膨らんで、ミルクが溢れそうじゃないの。

その代わりに、2匹ともちゃんとこの用意してあげたお皿の上に、オチンチンのミルク出すのよ、分かったあ？

『はい、お姉様あ』

よおし、それじゃあスケベな猫ちゃんたち、男の子みたいにオチンチンシコシコしていいわよお♪

『ん、あああん！ あああああ！ 気持ちいい、オチンチンが、敏感になってるオチンチンが破裂しちゃうう♥』

『ああん、お姉様あ！ 女の子なのに、男の子みたいにオチンチンシコシコしてオナニーする、ユウナを許してええ！』

ホントねえ、可愛いスカートから、ビンッピンに勃起させたペニクリが飛び出しているじゃないの、この変態♪

いい、お前たちは変態よ！ 変態のマゾ♪ マゾ、マゾ、変態のマゾ猫よ♪

女の子の服を着て、女の子のパンティーをはいて、お尻マンコにチンポをズコズコされながら

イヤラシイ乳首とペニクリを弄っているの。

最っ低の変態ネコ！ こんな恥ずかしい姿、他の誰にも見せられないわよお？ わかってるの？

『にゃあん、にゃん♥ ごめんなさい、ごめんなさい！ ユウナとミクちゃんは、変態ですう！』

『女の子の格好をして、お尻マンコをズコズコされながら、お勃起したペニクリをシコっていますう、んはあん♥』

『んああ、気持ちいい！ 気持ちいい！ ペニクリシコシコ、気持ちいいよお！』

『んはあ、女の子みたいにオチンポ挿れられながら、オチンチンシコシコするの、気持ちいいですう、ああん♥』

『やあん、タマタマが、ユウナのタマタマが、スケベなミルクでパンパンなのお、あん、あん、ああん♥』

いいわほら、イキなさい！ 2匹とも、お皿の上にたっぷりとチンポミルクをお出しなさい！！

『きゃうん、出ちゃう出ちゃう！ お姉様に観られながら、恥ずかしい男の子オナニーで、オチンチンのミルク出ちゃうよお！！』

『いくう、いくう、出ちゃう、お尻マンコで感じながら、オチンポミルク出ちゃうう、あくう、んあああああーっ！！』(※8秒)

『んああ、はあ、はあ、はあ！ やああん、ユウナとミクちゃんのお精子、お皿の上にいっぱい出ちゃったああ、ああ…』

うっふふ、ホントにイヤラシイ猫ちゃんたちねえ？

ほらユウナ、ミク、一緒にこう言って謝りなさい♪

「女の子なのに、オチンチンシコシコして、お精子ミルクいっぱい出しちゃってごめんなさい」 はい♪

『ああ、お、女の子なのに、オチンチンシコシコして、お精子ミルクいっぱい出しちゃってごめんなさいい♥』

■第五話 ご褒美ミルクの時間 ユウナと一緒にセルフ精飲プレイ

うっふふ、我慢してたから、いっぱい出たわねえ？ スケベ猫のチンポミルク♥

よおし、2匹とも良く頑張ったから、ご褒美の時間よお♪

限界まで体力を使って、お腹空いたでしょう？

そう、ご褒美は、お前たちが今出したオチンチンのミルクよお、さあお上がりなさい♪

(※笑み、意地悪っぽく→)うっふふ…ほおら、何してるの？

自分が頑張ってピュッピュした、新鮮なチンポミルクよ、ちゃんと味わって飲みなさいよお♪

もちろん、お前たちは猫なんだから、手を使っちゃ駄目よお？

這いつくばって、お皿に顔を近づけて、ミルクを飲むの♪

ほら何してるの、ユウナ、お前はいつも飲んでるでしょう？

上手に自分のミルクが飲めるところ、ミクに見せてあげなさい♪

『あうう…、は、はい。うう、ミクちゃん観ててね…、ユウナが…じ、自分のオチンチンのミルクを飲むところ…』

『ううん、クチュツチュプツ…ジュルツ、ん、ん…ゴクンツ、ゴクンツ』

ほおら、何してるの、お前も飲みなさいミク♪

…そうよ、お前の金玉が作った、出来たて精子ミルクよお♥

ほら2匹とも、もっと舌先でレロレロ嘗め回したり、ジュルジュルとイヤラシイ音を立てて飲みなさい♪

『んああ、ん、ん、ジュル、レロレロ、ジュルルツ！ んはあ、自分の精子い、ユウナ、自分の精子飲んでるう♥』

『クチュツジュルツ、ジュルルツ、ゴクンツ♥』

うっふふ、どうなのユウナ？ 自分が出したお精子ミルクは美味しいの？

『んああ、はあ、はあ、はいい…。自分のお精子ミルク、とっても美味しいです、ああ…』

ミクは？ ほら答えなさい♪(※7秒)

いい子ねえ、ミクちゃん♪

その調子で、お姉様の命令に従っていれば、この先もずう〜っと可愛がってあげるからねえ♪

ほらユウナ、最後のご挨拶を教えてあげなさい♪

『は、はい。ああ、お姉様、今日もユウナが女の子になれる様に、キビシク躡けて下さって、ありがとうございましたあ♥』

よおし、お前たち。

明日は今日よりもっと、可愛くてイヤラシイ女の子…ううん、メス猫になるのよお、分かった？

『はい、お姉様』

■エピローグ

うふふ、お疲れ様あ。

女装猫として飼われて、変態メスイキさせられる調教ボイス、どうだったかしらあ？

アナタの変態的な性癖、満たせたかなあ？

さすがに自分のオチンチンミルクは飲めなかった…っていう子も

大丈夫、それが当たり前だから気にしないで頂戴ね♪

むしろ、そんな変態的なことが出来ちゃったっていう子がいたら…クスクス、ホントに最っ低、終わってるわよ？

自分で自分の精子を飲んじゃうなんて、どうしようないど変態よお？ うっふふ…。

このサークルでは、今後も色んなジャンルの作品を発表していく予定よ。

これからも、サークル・ベノムギフトを宜しくね。

それじゃあまたね、私の可愛い仔猫ちゃん♥